

ウィスパー キュバス

2021 カオティックちくわ

//トラック1

SE:窓が開く音

SE:布団の中で身動ぐごそごそ言う音

「こんばんは、お兄さん」

「あ、驚かせてごめんなさい。 そうですよね、いきなり知らない女の子が布団の中に潜り込んでたら、びっくりしますよね」

「あたし、シアっていいます。サキュバスなんですけど……知っていますか？ えっちな悪魔です」

(耳に息をかける)

「ふー……」

「ふふつ……。今夜は、お兄さんの精子、いただきに來ました」

「大丈夫ですよ。お兄さんは何もしなくていいんです。あたしに身体をゆだねて、ごろーんって、お寝んねしてくださいね」

「ウィスパー ロリ サキュバスのシアがたーくさん、気持ちよくしてあげますから……」

「まずは……お兄さんのおちんぽ、見せてくださいね♡」

SE:服を脱がす音

「ふーん……うふふ……お兄さんのおちんぽってこういう感じなんですね。あたしの一番好きなタイプかも、です。楽しみ……」

「ん、しょ……あ……熱いです……手の中で、脈打って……♡」

「このくらいで握るの、痛くないですか？ じゃあ、ゆっくり……動かしますね。下から……上……今度は、上から……下……」

「あっ、おちんぽビクンッました……だんだん、勃起してきましたね……。ゆっくり……撫で上げると、ゆっくり……下げるの……うふふ、どっちが好きか、わかりやすいですね、おちんぽ素直で……感じやすくて……可愛いです」

「さあ、また根本から……ふふ、また少し大きくなりましたね……カリも、さっきより張ってます。亀頭は……後でいっぱい触ってあげます。今はこのまま……下へ……」

「まだ、完勃ちじゃないのに……あたしの手だと、太いところ、指が回らないかも……やっぱり、あたし好みのおちんぽ……素敵……はあ……美味しいぞう……」

「ん……少し、手の角度変えますね。ほら、こうすると、裏筋……気持ちいいでしょう？」

「手、このまま少し早くしますね……裏筋刺激しながら、竿コシコシしますよ……」

「ん……んうつ……んつ……はあ……うふふ、おちんぽ、また硬くなっていますね……素直なおちんぽは好

きですよ……♡」

「初対面なのに、おちんぽ好き勝手されて……こんなに感じちゃうなんて……お兄さん、とっても変態さんです♡」

「変・態・さん♡ じゃあ次は……亀頭をいっぱいイジめちゃいます。くびれのところに指を回して……このまま亀頭を優しく撫でて……カリはキュッと締めて……あ♡ 声、出てますよ？ これ、好きなんですね……じゃあ、もつとしてあげますね……しこ、しこ……しこ、しこ……いっぱい、いっぱい気持ちよくなっちゃえ♡ しこ、しこ……しこ……しこ……」

「ん……あ……見てください……お兄さんの先走りで、あたしの手、ヌルヌルです♡……ふふふ、こんなちっちゃな口リサキュバスに好き放題されちゃって、恥ずかしいですよね」

「でも、それでいいんです♡ お兄さんのみつともないところ……あたしが全部受け入れてあげます。その代わり……まだ、射精しないでくださいね」

「お兄さん、すっごく可愛いから……キスしたくなっちゃいました。ね、キスしましょう？ 歯も、上顎も、舌も、ぜーんぶ、しゃぶりつくしたいんです♡」

「その間も、ずっと亀頭責め続けますけど……絶対に、出しちゃダメ。我慢すればするほど、後ですっごくよくなりますから……あたしがいいって言うまで、絶対に射精しないでくださいね」

(キス)

「ちゅ……くちゅ……ちゅぱ……ふふ……不満そうな顔……いつ舌入れるかは、あたしが決めます……ふふつ……そんなに辛そうな顔しても、ダメです……絶対にイッちゃダメ……」

「ちゅう……ん、ちゅ……腰ヒクヒクさせて、必死に我慢してる……♡ 可愛い♡ いいこですね。それなら、ご褒美あげます……」

(ディープキス)

「じゅふ、じゅるるるる……！ ちゅふ、くちゅ、じゅふ、じゅるるるる！ くちゅくちゅくちゅ、んはあ、んむつ、じゅるるる……ふはあ！」

「はあ……舌も、唾液もぜんぶ美味しい……こんなの……キス、止められなくなります……」

(ディープキス)

「ちゅふ、じゅふふつ、くちゅくちゅ、んむつ、じゅふふつ、じゅるるるるるるつ、んむつ、くちゅくちゅ……ふはあ、ああ……つ！」

(キスしながら)

「ちゅ……ねえ……空いてる手、繋ぎましょう？ あ……お兄さんの手、大きい……指絡めて……」

(ディープキス)

「んむつ、んんんんんんつ……！ はあつ、じゅふつ、じゅるるるるつ……！ んむつ、手、こっちへ……ああんつ！」

(キスしながら)

「ほら、ちゅつ、生おっぱい、触ってください。ちゅつ、あたしのおっぱい……ちゅつ……お兄さんの好きにして、いいですよ……？ は、ああつ、ふふつ、おっぱい好きなんですね？ ちゅつ……はあ……ん……揉むのも、乳首いじるのも上手いんですね……気持ちいいです……」

「んうつ……あつ……！ それ……感じますうつ……！ うふふ……もっと強くしてもいいんですよ？ あたし……激しくされるの好きなんです……あつ、あああつ……いい、いいですう……はあ……はあ……キス……キスしましょう……」

(キスしながら)

「ちゅ……ちゅぱ……あっ、こらあ……！ そんな風に腰動かして、射精するつもりでしょう。ダメですよ。まだ我慢して、出来るでしょう？ ちゅ……ちゅぶ……」

(キスしながら)

「ん……お兄さんの、精子は……ちゅぶ……あたしのナ力に全部出してもらいますから……ちゅ……それまで我慢して……出来ますよね？」

(耳に息をかける)

「ふー……このパンパンのおちんぽ挿れるの、あたしも楽しみなんです。亀頭の大きさも、竿の太さも張りも、そり方も、長さも全部あたしの理想……」

(耳に息をかける)

「ふー……うふふ、すごい反応……おちんぽが切なそうにヒクついちゃってますね♡」

「はあん……楽しみ……焦らして焦らして、限界まで溜め込んだ濃厚ザーメン、子宮にナ力出しされたら……きっとあたし、壊れちゃいますね……♡」

「ほら……お兄さん、おまんこ、触ってみてください……ん、あつ……♡ 今、聞えました……？ ぬちゅつて……おちんぽ欲しくて……お汁が溢れちゃってるんです……」

「でもお……あたしのおまんこ……キツキツで、おちんぽ全部入るか分からないから……指で、ほぐしてくれませんか……？」

「ん……あ、そう、そこです……あ、指、入って……男の人のゴツゴツした指……はあん♡」

「あつ……！ お兄さんの指、二本……入ってる……ん……くう……やっぱり……長くて……気持ちいい……！！」

「はあ……そこ……ぐりぐりされるの好き……んあつ、そう、お兄さん凄い、上手い……！ はあ、そのまま、指、してえ……」

「あつ……ああつ……いい……ああつ、やあん……えっちな音、いっぱい聞かれちゃう……♡」

「あつ……我慢汁、濃くなっていますよ……セックスしたくて、おちんぽイライラしちゃってるんですね……♡
もう少しの辛抱ですよ……頑張れ♡ おちんぽ頑張れ♡ ふふ、偉いですね……ご褒美のキス……またあげちゃいます……」

(ディープキス)

「んむうつ、ちゅむつ、じゅふつ、じゅるるるるる……！ はあつ、んうつ、じゅふふふつ、れるれるれる……！ んううつ……あへえ、指、上手すぎですう……んむ、じゅふふ……はあ……気持ちいい……んちゅ、ちゅるるるる……はふう……ん……」

「はあ……はあ……もう……奥まで指……入って……ん、あつ……はあん……」

「……ふふ、気付いてますか？ 今、お兄さんの目、すっごくギラギラします……目の前のロリサキュバスを、おちんぽで凌辱したくて仕方ないって、顔に出ちゃってます……精子が欲しいだけの行きずりセックスに本気になっちゃってるんですね……♡ 本当に可愛いです……♡」

「でも駄目……これは捕食行為なんですから。お兄さんに決定権はありません……♡」

「お兄さんはただごろーんってしてればいいんです……あたしのサキュバスまんこで、騎乗位膣コキ、しゃいますから……」

//水音SE:声に合わせて「ちゅふ…にゅるる…」とゆっくり入っていくイメージで

「はうつ……！ 先っぽ……んふう……全部入つたら……あたし、どうなっちゃうんだろう……はあ……楽しみ……！」

「挿れます、ね……あ……あふつ……ああああつ……！」

「う……そ……先っぽ入つた、だけなのにい……あ……が子宮まで疼いちゃうう……な……なにこれえ……！」

//水音SE:声に合わせて水音をにゅる、にゅるにゅると挿入

「は……はあ……んう……はあ……ああ……入つて……くるう……ああ……くうん……あはあ……！ は、はあ……入つた部分、絡み付く、はあ……おちんぽ欲しがり過ぎて……んう……もう、もう気持ちいい……！！」

//水音SE:声に合わせて水音をにゅる、にゅるにゅると挿入

「は、やあ、ああつ、ちょっとずつ、味わおうとしたのに……♡ 腰が勝手に動いちゃうつ……！ いきなり、奥まで……ん、んううつ……あふつ、あああつ、気持ちいいつ、ああつ、はあつ、全部入つちゃうつ……！」

//水音SE:声に合わせて水音をにゅる、にゅるにゅると挿入

「あああああああんつ……！ くうつ……！」

「あつ……は……挿れただけで、イキそうになりました……はあ……思った通り……このおちんぽ、大好き……膣壁がぴったり吸い付いちやつての……わかりますよね……♡」

//水音SE:ゆっくり動く

「んあつ……ふふつ、やつぱり、腰が勝手に動いちゃう……こんなの初めて……サキュバスなのに……人間のおちんぽに負けちゃいそうです……♡ すごいです、お兄さんのおちんぽ……世界一カッコよくて、気持ちいい……♡」

//水音SE:スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「あたしも、本気になっちゃいます……♡ 行きずりおちんぽに……ガツガツ腰振っちゃう……♡ はあん、あ、あつ……そこ、奥の、イボイボしたとこ……カリに、引っかかってえ……ひああつ♡ あ、あつ、んんつ……ダメ、これ、ダメですっ、いくまで、止まんないつ……！」

「散々お兄さんのこと、我慢させたのに……いっぱい気持ちよくなっちゃって、ごめんなさい……♡ でも、お兄さんが悪いんですよ、こんな立派なおちんぽ、持ってるから……ああ、あつ……これ、すごつ……あ、あううつ♡ おまんこの形、変わっちゃいますっ……♡」

「すんすん……ん、んあ♡ はあ、ヤバいです……汗のにおいも、好きかもお……好みの体臭します……ますます、手放せなくなっちゃうつ……はああつ、お兄さん、お兄さんあんつ……もっと、もっとお……あ、あう、やあん……♡」

「んああつ……あ、中で、ビクビクして……お兄さんも、気持ちいいんだ……♡ あたしたち、相性ぴったりですねっ……違う生き物なのに……♡ きっとお兄さん、あたしとセックスするために生まれてきたんですよ……じゃなきや、こんなに気持ちいの、説明がつきませんつ……はああ♡」

「ほら、もっと声、出してください……気持ちいい、気持ちいいよお、って……女の子みたいに喘いじやつていいんですよ……お兄さんの可愛い声、いっぱい聞かせて……？ 二人して、バカになりましょう？ ……下品で、ケダモノみたいなセックスに、溺れたいですよね……♡」

(耳に息をかける)

「ふー……んう……はあ……耳、好きなんですね……凄い反応……♡ おまんこ越しに、お兄さんが気持ちよくてたまらないって、伝わってきますよ……」

「ふー……ふー……ふ——……」

「バカになっちゃえ……♡ 欲望に素直になっちゃえ……♡ お兄さんは、おちんぽセックスの事しか考えられない……わるーい雄ですよ……♡」

「ああつ……んんんつ♡ また、中でおっきくなりましたあ……♡ 素直なお兄さんには、特別なご褒美……♡ 行きずりのロリサキュバスに、無責任中出し射精……しゃってください……♡」

//水音SE:ラストスパート

「あつ！ あんつ！ ああんつ！ んうつ！ ああつ！ ねえ、わかりますか？ 子宮口、たくさんゴツゴツされて……♡さつきから、赤ちゃん部屋が、お兄さんの精子、おねだりしてるんですよ……♡ きゅう、きゅううつて……はああ、あつ……んあ、あ、んぐつ……」

(耳舐め)

「ん……くちゅ……れるれるれる……んうつ！ はあ……お兄さん……んう……ね……耳と……乳首と……おちんぽ……ぜーんぶ愛してあげます……くちゅくちゅ……じゅるるるつ！」

「はあ……ああ……だから……だからあ……全部くださいね……ドロドロの濃厚ザーメン……一滴残らず……あたしの、おまんこにい……♡」

「んつ、んつ、んああつ、ああつ、はあ、ああつ、んううつ、おちんちん、苦しそう…… はあつ、ああつ……もう、出ちゃうんですね、大きな声で言えて偉いですう、はあ……ああ……」

(耳舐め)

「んふう……ぐちゅ……じゅるるるるつ……！ はあ……ああ……出して……？ イって♡ 思いつきり、射精してください……♡ んう……はあ……ちゅ……んう……あああつ！ あたしももう……もうイク……！」

(絶頂)

「あああああああああああああああああんつ……！！」

「あああつ、てるうつ！ 精子……凄い、あああんつ、熱い……子宮に入って……んああああんつ……！」

//SE:水音終了

「はあ……はあ……ん……や……隙間から、精液……溢れちゃってます……いっぱい溜め込んでたんですね……はあ……こんなに濃ゆいの、初めてです……子宮に染みて……んん、美味しい……♡」

(耳にキス)

「ちゅ…………お兄さんも、おちんぽさんも、お疲れ様……ゆっくり、休んでくださいね」

「はい、あたしはそろそろお暇しようかと……今日のはあくまで、行きずりの、捕食行為を伴ったセックス

ですし」

「これは全部、悪い夢……キレイさっぱり忘れて……ううん、それはさすがに無理か……」

「だってこんなに気持ちいいセックス、忘れられるわけないですよね……♡」

「だから、たまーに思い出して、オナニーのオカズにしていいですよ♡」

「あたしも、とっても良い思い出として、胸に閉まっておきます♡」

SE: 布団の中で身動ぐごそごそ言う音

「それでは……ごちそうさまでした」

「おやすみなさい、お兄さん……良い夢を見てくださいね」

SE: 窓が開く音

//トラック2

SE:窓が開く音

SE:布団の中で身動ぐごそごそ言う音

(耳に息をかける)

「ふー……ふふつ。

こんばんは、お兄さん。また来ちゃいました」

「あ、嬉しそうな顔してる♡ そんなにあたしが恋しかったんですか？」

「ふふ、実はあたしもです。……あ、これでも一応、同じ男性には二度夜這いしない主義なんですよ？」

SE:服を脱がす音

「深い関係になると、色々面倒じゃないですか……でも、お兄さんの精子が、どうしても忘れられなくて……♡」

「だから今夜も、お兄さんの極上ザーメン、お腹いっぱい食べさせてくださいね」

「勿論、ただでとは言いません。前よりもっと、気持ちよく、させてあげますから♡」

「まずはあ……再会の証に、いっぱいイチャイチャして、ラブラブなキス、しちゃいましょう？」

(ディープキス)

「んちゅ……ん、れろ……ちゅう……はああ……久しぶりの、お兄さんの唾液……頭、くらくらしちゃいそう……ん、ちゅ…………ん、んんっ……あ……しゅご……こく……こくっ……」

「ん、ふは……はあ……キスだけで、子宮がキュンキュンしちゃいました……♡ あたしの身体……どんどん、お兄さん色に染められちゃってますね……」

「……あ、お兄さんも大きくなっています♡ ちょっとキスしただけなのに、バキバキに勃起しちゃって……わるーい雄ですね♡」

(キス)

「ほら、舌出して……べえー、べえー、って。そうそう♡ ワンちゃんみたいで可愛いですよ♡ 今からお兄さんの舌、フェラチオしちゃいます♡」

(舌を吸いながら)

「ちゅるっ……んう……やっぱり……ちゅく……お兄さんの舌、美味しい……ん……ちゅる……こうして舐めてるだけで……ちゅるっ……んう……おまんこ、濡れちゃいます……♡」

(ディープキス)

「じゅるるるるる……んう……じゅふじゅふ……んむつ……じゅるるるるつ……くうん……んう……じゅるじゅるじゅる……はあつ！ んう……」

(舌を絡めたまま)

「やっぱひ……お兄さんのキス……きもちひいれふう……もっと……」

(ディープキス)

「んむう……じゅるるるつ……んふうん……じゅくじゅく……んう……はあ……」

(舌を絡めたまま)

「んう……もっと唾、飲みたい……お兄さん、今からごくんしちゃだめですよ……全部あたしに飲ませてください……♡」

(ディープキス)

「ちゅむつ……ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ……じゅるるるるつ……んむ……ちゅるるつ……んふう
……んむ……じゅるるるつ……」

(嚥下)

「ごくつ……はあ……美味しい……♡」

「ふふっ、お口の周り唾液でベタベタになってますよ……赤ちゃんみたいですねえ……。よちよーち、全部ぺろぺろして、綺麗にしてあげまちゅからねー……」

(舐めながら)

「ぺろ……ん……ふふつ……こんなに零してえ……んむつ……ぺろぺろ……耳の方まで……」

(耳に息をかける)

「ふー……」

「うふふ、ビクってしましたね。やっぱり、耳、弱いんですね。あたしも……耳責めるの、好きです」

(耳舐め)

「れるれるれる……ちゅ……ちゅむ……じゅるるる……」

(耳に息をかける)

「ふー……はあ……」

「うふふ、すごく勃起してますね……熱くて、硬くて……はあ……やっぱり、最高……。これがおまんこに入って、あたしをメチャクチャにしたんですよ……？」

SE: 布団の中で身動ぐごそごそ言う音

「ん……あ……わかりますか？ おちんぽの先っぽ、あたしのお臍の下に当てるんですけど……。この辺りに、子宮口があるんです♡ すごいですよね。こんなところまでおちんぽ届いちゃってたんですよ？ 子宮口ぐいぐい押されて、直接精液入って来て……気持ち良すぎて、頭おかし

くなりそうでした……ん……思い出したら……ムズムズして……ふふっ、んう……やあん、はしたないお汁が……零れて来ちゃいました……♡」

SE: 布団の中で身動ぐごそごそ言う音

「このヌルヌルで、おちんぽゴシゴシしたら、きっと気持ちいですよお……？」

SE: 布団の中で身動ぐごそごそ言う音

「はあ……あ……んんつ、割れ目越し、なのに……熱いの、伝わって……んつ、あ……どう、ですかあ……ロリサキュバスのスマタ……気持ちいい、ですよね……♡」

「……はあ……ん……硬いおちんぽで、クリトリス擦るの気持ちいい……腰、止まらないです……」

SE: 布団の中で身動ぐごそごそ言う音

「お兄さんも……早く……挿れたいですよね……♡ でも……今日はその前に……特別サービスしちゃいます……♡」

「サキュバスでしか出来ない、気持ちいいこと、知りたいですよね……？」

「お兄さん、見てください。あたしのしっぽ……うふふ……実は……先っぽがくばあって割れるんです。……ほら、中はイボイボになってて……お兄さんたちがオナニーでよく使う、オナホール、みたいになってるでしょう？」

「あたしたちウィスパー・キュバスは、しっぽで精液を絞り取る事が出来ちゃうんです♡」

「それじゃあ……行きますよ？ しっぽフェラ、堪能してくださいね♡」

//水音SE: 声に合わせて水音をにゅる、にゅるにゅると挿入

「んああつ……！ これが……サキュバスのご奉仕です。人間の女には出来ない、しっぽフェラ……んうつ……はあ……おちんぽ……おつきい……しっぽ裂けちゃいそう……気持ちいい……！」

「ふふ、ごめんなさい……♡あたし、しっぽが性感帯なので……いっぱい声でちゃうかも……」

//水音SE: 声に合わせて水音をにゅる、にゅるにゅると挿入

「ん、あ……あたしのしっぽの中……みたいにヒダがあって……ヌルヌルしてて……きゅうっておちんぽ全部絡めとられてる、みたいでしょう……？ 手コキとか、オナホじゃ、もう満足できないですね……♡」

//水音SE: ゆっくり動く

「それに……尻尾でフェラしながら、お兄さんのタマタマとか……お尻の穴とか、ペロペロ出来ちゃうんですよ……ほら……れろ……れろお……んんっ……玉の裏、すごおい匂い……射精を我慢してる雄の匂いだ……これ、大好き……癖になっちゃいます……すんすん……はあ……れろ、んちゅ、ちゅう……」

「たま……お口の中で、しゃぶっちゃいますね……んちゅ、はむ……ん、んう……ふにやふにやで……やわらかくて……おいひい……ここで、濃厚ざめん、つくってるんれふね……じゃあ、いっぱいよちよちしてあげないと……♡」

「んちゅ……ちゅう……れろ、よひよひ……金玉さん、可愛いれふよ……ちゅ、ん、はむ……」

「んちゅ、れろ……はむ、ん……んう……尻尾フェラと玉舐めの……同時責め、ろう、りえふかあ……？ こんなの、人間の女じや、絶対にできないれふよ？ ……ん、ちゅ……はむ……ふは……」

「これで分かりましたよね、お兄さんを満足させられるのは、サキュバスのあたしだけって……」

「だからお兄さんも……これからは、精子の無駄撃ちは止めましょう？ね？ オナニーも、人間の女とのセックスも、もったいないですよ……♡」

「全部、あたしにブチまけちゃえばいいんですよ……♡ ほら、今度は尻尾フェラしながら、根本を舐め舐めしちゃいます……」

「ちゅう……れろ……れろ……はあ……やっぱり、おちんぽが一番おいしいかも……♡ ちゅ、ん……あ……」

「んううつ……はあ……はあ……尻尾の中で……おちんちん、暴れてますね……♡ んううつ……おちんぽ、ドクドクしてる……熱くて……はあ……感じちゃうう……！」

「はむ……ちゅ……ちゅう……お兄さん……また怖一い顔してる……セックスしたくなっちゃいました……そうですよね、こんな気持ちいい事されたら、おまんこでゴシゴシしたくなっちゃいますもんね……♡」

「でも……あたし、ちょっと楽しくなってきちゃったので……もう少しだけ、楽しませてくださいね♡」

//水音SE:スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「尻尾をお……締めて、捻りながら、上から下までジュポジュポして……舌でも……ペろ…ペろ……！ んううつ……はあ……」

「んんっ♡ 脈うってる……精子が、込み上げて来てますね……どこにビューってしたいですか……？ やっぱり、おまんこのいちばん奥ですか……？」

「ん～～……じゃ一あ、こうしましょう」

「恥ずかしげもなく、大きな声で叫んでください」

「可愛い可愛いロリサキュバスのシアちゃんと、おまんこセックスがしたいです、って♡」

「お兄さんのおちんぽは、あたし専用の精子サーバーです、って♡」

「もちろん、あたしがお兄さんを使うかどうかはその時の気分ですけど……♡」

「でもお兄さんは……、もう、あたしじゃなきや、満足できないでしょう？♡」

「ほーら、意地張ってないで……おまんこセックス♡ おまんこセックス♡」

「……ふふ、良く言えましたね、偉いですよ、お兄さん、とっても男らしいです♡ じゃあ、お待ちかねの……ロリサキュバスまんこ……た一つり、召し上がりれ♡」

//水音SE:声に合わせて「ちゅふ…にゅるる…」とゆっくり入っていくイメージで

「はうつ……ああああっ……前より、太くなっていますよ♡……あつ……んううつ……すご、い……ああつ……一気に……来ちゃう……♡」

//水音SE:声に合わせて水音をにゅる、にゅるにゅると挿入

「わかりますか……♡ 前よりもすんなり、おまんこが、おちんぽの形になってえ……はあつ……精液のおねだりしちゃってます♡……ん、あ……んう、ああああつ……！」

//水音SE:スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「んあ、あつ、あ、これ、ヤバいですっ♡ あふっ♡ ガマンとか、無理ですっ♡ 腰、バカになっちゃいましたっ♡ とまんない♡ お兄さんも、いっぱい下から、突き上げてくださいっ♡ 遠慮なんていらないですっ、ロリサキュバス、滅茶苦茶にレイプして♡」

「ああ、いい♡ 良すぎる♡ はあつ……♡ だめ♡ 腰、もっと激しくなっちゃうつ！ 止められないっ！ ふあああ♡ 先っぽが奥のいいとこ擦ってから♡ 子宮口コツンコツンするううつ♡ おまんこ全部ちんこで擦れて♡ いい♡ いいですう♡」

「あふう♡ 凄い音♡ お汁溢れて止まらない♡ おちんぽすごすぎて、おまんこ壊れちゃったあ♡ でもいいです♡ 壊して♡ あたしのこと壊してください♡ こんな気持ちいいセックス出来るなら、なんでもいいですう♡」

「はああ、あ、キス、キスしたいですっ、お兄さんと全部、繋がってたい……早く、ちゅーって、ちゅーてしましょ？ はあ、あ、ああん♡」

(ディープキス)

「じゅるるるるっ……じゅるるっ……じゅふじゅふじゅふ……れるるるっ！ んんんん♡」

「ふはあ♡ これしゅごいい♡ おまんこ締まっちゃうう♡ もう一回……ねえ、舌もっと入れて♡ もつとベロベロチューしよ♡」

(ディープキス)

「じゅぶぶつ……んふふつ……んうつ……んんんんう……じゅるるるるるつ！」

「はあ♡ おちんぽでおまんこギュウギュウにして♡ グチャグチャの汚いキスするの最高です♡」

「あ、あんつ、嬉しいです♡ お兄さん、あたしがきもちいいこと、沢山してくれて……はああ、あ♡ お礼にお兄さんのだい好きなお耳も、滅茶苦茶にしてあげますね♡」

(耳舐め)

「じゅるるる……れるれるれる……ちゅ♡ ちゅ♡ じゅぶつ、れるれるれる……はあ♡ ちゅつ♡」

「は……あ……あああん♡ ちんこビクビクしてるう♡ ああ♡ 出そう？ 出そうですよね？ 早く出して♡ はやく♡ ねえ♡」

「じゅる……じゅる、ちゅぱ、はむ、れろ、早く、精液ください♡おまんこの奥が、切なくて苦しいんです♡」

「はううん♡ ねえ♡ ねえ♡ んううつ♡ お兄さんのバキバキちんぽ♡ 根本から先端まで♡ 全部う♡ おまんこでしごいてあげますから♡ んう♡ ねえ、わかるでしょ♡ 先端が子宮口こじ開けちゃってます♡ 精子、精子が欲しいんです♡ はやく♡ はやくせいしひゅっぴゅして♡」

「女の子の秘密の部屋に♡ 直接お注射して♡ 孕ませ射精してえ♡ んうう♡ ああん♡ ねえ♡ あたし頑張りますからあ♡ いっぱい気持ちよくしますからあ♡ ご褒美射精してください♡」

//水音SE:ラストスパート

「はあ♡ ああ♡ ちんこすごすぎ♡ 熱くて♡ 硬くて♡ 強い♡ 全部、ゴリュゴリュ擦れる♡ ゴツゴツ当たるう♡ はあ♡ 強すぎちんぽで♡ おまんこ壊れる♡ 壊れちゃうう♡ はあん♡」

「あああんつ♡ サキュバスなのに♡ 人間ちんぽに負ける♡ 負けてるう♡ ちんぽに支配されるう♡ はあん♡ 好き好き好き♡ このおちんぽ大好き、大好きなのお♡」

「ああ……♡ 出るんですね♡ おちんぽブルブルしてる♡ くる♡ 精液くる♡ あつ、ああああんつ、あつ、あああつ、あたしも、もうだめえつ、イク、イク、すごいいいっちゃうう……んんう……♡」

(絶頂)

//SE:水音終了

「はあああああああああああん♡」

「んあ、あ……あはあ♡ 熱いい……精子い……♡ 子宮に直接……ビュクビュク入ってくるう……♡」

「あ、やつ、うそ……精子で、射精でいつちや……んああああああつ！ はあつ！ はあ……あ、あう……おまんこ、イグの止まらな……あ、はあ……♡」

「はあ―――はあ―――あ……う……うまく……呼吸、できないです……♡ 本当に
……お兄さんに……こわ、されちゃいましたね……ふふ……ん、んう……」

「んう……分かりますか……まだ、痙攣が止まらなくって……あ、ダメです……♡
まだ、抜いちゃ……余韻を、味わいたいので……ん……う……♡」

「はあ……はあ……もう……今日はもう、一歩も動けません……♡」

「すごいです……お兄さん♡ 都合のいい、精子サーバーになってもらうつもりが……
たくさん……わから、されちゃいました……♡」

「あたし、お兄さんのおちんぽには……勝てそうに、ないです……♡」

「もう……頭もくらくらで……限界……かも……です……」

「少しだけ……休ませてください……」

「……んん、お兄さんの身体、大きい……安心、します……」

「ふふ……負けたのが……あなたで良かった……」

「すう……すう……」

//トラック3

SE:窓が開く音

SE:布団の中で身動ぐごそごそ言う音

(耳に息をかける)

「ふー……ふふ♡ こんばんは、お兄さん。今日も来てしまいました」

「あなたの可愛いウィスパーロリサキュバス、シアですよ♡」

(耳にキス)

「ちゅつ……はあ……ふふつ。会いたかったです。お兄さんは？ あたしのこと……考えました？」

「あたしは考えてましたよ。どこにいても……なにしてても……またお兄さんの極上精子食べたいな♡ とか、ぶつといちんこに内側からみちみちっておまんこ広げられたい♡ とか……ずっと考えて……」

(キス)

「ちゅつ……待ちきれなくて……一人でえっちなこといっぱいしちゃいました。ちゅ……。お兄さんは？ あたしのこと思い出して、オナニーとか、してないですよね？」

「あたしの為に、精子取つといてくれましたよね♡」

(キス)

「うふふ……嬉しいです……ちゅ……んう……ちゅ……はあ……うふふ……ちゅつ……ちゅ……」

SE:服を脱がす音

(キス)

「ちゅつ……はあ……今日はどうしようかな……まずはお兄さんに脱ぎ脱ぎしてもらってえ……そうだ、乳首、イジめちゃいますね♡」

(乳首責め)

「ちゅ……ちゅう……んちゅ……あ、勃ってきました……♡」

「お兄さんの乳首、可愛いです。ぺろっ、ちゅっ、ふふつ、その反応も可愛い♡ 乳首責められて、喘いじやって…………女の子みたいですね♡ うふふ、きゅんきゅんします♡ ちゅつ、ちゅぱつ、ちゅくちゅく……」

「あ……当たってますよ♡ 勃起ちんぽ♡ もうこんな硬くして……は・や・す・ぎ♡」

「ほらあ♡ 股間がテント張ってますよ♡ じゃーあ、下も脱ぎ脱ぎしましちゃうね♡」

SE:服を脱がす音

「きやつ♡ おちんぽブルンって出てきましたね……♡」

「お兄さん、見て。ほら、あたしのしっぽおまんこ……もうこんなに濡れてるんですう……また、しっぽフェラしてあげますね。これ、好きでしょう？」

//水音SE:声に合わせて水音をにゅる、にゅるにゅると挿入

「んふ♡ しっぽの入り口で、先端をぐぼぐぼしますね……こういうの、好きですよね？ お兄さん、亀頭弱いですよねえ。ほら、先端ずぶずぶ飲んで……入り口で亀頭をしごきながらギリギリまで引き抜いて……また飲みますよ……うふふ♡ はあ……ん……しっぽのえっちな汁で、先っぽヌルヌルになってくう……♡」

//水音SE:ゆっくり動く

(キス)

「うふふ♡ 亀頭ジュポジュポしながら、鈴口ベロベロしちゃいますね♡ お兄さん、顔はこっち向いて……ふふっ、こっちでもベロベロしましょう♡ キスしながらフェラは、人間の女には出来ないから……」

(ディープキス)

「ちゅるるるるつ、じゅるつ、ちゅぱつ、んはあ、んむつ、ちゅるるつ、じゅるる……んうつ……」

(キスしながら)

「ちゅぱつ、どうですかあ？ んむつ……じゅるる……おちんぽ全部……しっぽの奥まで挿れますねえ……ちゅつ……」

「あっ、あああああっ♡ やらっ、やらあつ♡ 感じる、感じちゃいますうつ♡ ああ♡ しっぽおまんこが♡ おちんぽに、ピッタリ吸い付いて……ああっ♡」

「あ、お兄さん……そろそろイきたいんですね？」

「ふふ、お兄さんのおちんぽの事なら、何でもお見通しですよ？」

「例えば今はあ……いっぱいキスされながら、びゅびゅ～～って尻尾の中に精子を出したいんですね？」

「まずは……ほっぺに……ちゅ……ん、ちゅう……」

「唇も……ちゅ、んん、ちゅうう……ちゅ、れろ、はむ……」

「……あ、その顔♡……お耳にもしてほしいんですね……？♡」

(耳にキス)

「ちゅっ、れるつ、はむつ、じゅるるつ……ふふつ、声、出ちゃってますよ……可愛い……ちゅう……れろ、んじゅ、ちゅるる……はむ、れろお……」

//水音SE:スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「尻尾フェラしながらあ……お耳ちゅっちゅされるの、気持ちいいですよね♡ いっぱい感じちゃつてください♡」

(耳にキス)

「じゅる……ちゅう……じゅる……ちゅ……はむ……あ、尻尾の中で、ビクビクって……はあ……あたしも、いっぱい、気持ちいいですっ……♡」

(耳舐め)

//SE:水音終了

「はあ……あ……もう、いいですよね……？ たくさん、愛撫したので……おちんぽ、入れちゃいましょう……？」

「……ふふ、実はこのところずっと、お兄さんの精子しか飲んでないんです……だから、お腹ペコペコで……すっごく、ムラムラしちゃって……」

「もう、焦らすのとか、我慢させるのとか……あたしが無理なんです……♡」

「だから……お願いします♡ あたしのおまんこ、思いきりほじくりまわして、赤ちゃんのお部屋に、種付けしてください……♡」

//水音SE:声に合わせて水音をにゅる、にゅるにゅると挿入

「うああ……♡ ちんこ来……たあ♡ きたあ♡ んお……しゅき……極太ちんぽ……しゅきい……♡ 太すぎい……みちみちいってるう……おまんこ壊れそお……♡ はあん……最高♡ おまんこ全部♡ ちんこが擦ってりゅう♡」

「お……おお♡ 届いた♡ おちんぽ子宮届いてますう♡ はあん♡ おちんぽがこちゅこちゅして……♡ いいです♡ きもちい♡ はあ♡ ああっ♡ 腰動いちゃう♡ サキュバスなのにい♡ メス本能に負ける♡ 負けちゃいますう♡」

//水音SE:スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「あ……あうつ……おちんぽ強いですっ♡ ごちゅごちゅってえ♡ ひあああんっ♡ 子宮こちゅこちゅされてるだけなのにい♡ 身体中に響く♡ ちんこ響くう♡ あふつ、あうつ、ああああっ……！」

//水音SE:ラストスパート

「やばいっ、これヤバいですっ♡ 腰止まんないっ♡ んううつ♡ おまんこ締まるう……♡ はうう♡ ああっ♡ お兄さんのちんこ好き♡ 好き♡ この中の子種欲しい♡ 他の精子なんてもう要らない♡ お兄さんの精子しか♡ ほしくないです♡ 他人ちんぽの精子なんか♡ はあ♡ しゅき♡ しゅきい♡」

「はあつ♡ これじゃ……ただのメスです♡ 優秀オスちんぽに勝てません♡ ああん♡ あたひ♡ オスちんぽだいしゅきな、メス穴になっちゃいます♡ ひあああつ、あんつ、ああつ、きもちいい、あ、もっと、もっとお……♡」

「あつ♡ あつ♡ もう、あたしのおまんこ♡ お兄さんの形ぴったりに♡ 作り替えられてるので♡ 全部♡ わかつちゃいます♡ おちんぽ、ドクドクって脈打って、精液が上がってきます♡ おちんぽ 精液でパンパンになってますう♡ はあ♡ ちんぽ熱くて♡ 溶けちゃいそうです♡」

「はああん♡ 出して♡ 出してください♡ んう♡ あたしのおっぱいも♡ おまんこ全部♡ 好きにしていいので♡ 快楽成分たっぷりの♡ 大量精子♡ ください♡ ください♡ オスの極上ザーメン欲しがるメスに♡ タネ付けしてくださいやい♡」

(ディープキス)

「キス……キスしましょ……んむっ……じゅるるるるるつ……んああつ♡ あふつ♡ おつ♡ おおつ♡ ああつ、イグっ！ イグイグ……お、おふつ……」

//SE:水音終了

(絶頂)

「あ、ああああああああああああああつ……！！」

「あへえ、せーし、せーしひゅっぴゅ出てるう♡ あついせーし♡ んう♡ ドロドロお♡ あつ、あうつ♡ 多い♡ せーし多い♡ こんなに入らない♡ あふれちゃいます……♡」

「はあ……はあ……ああ……♡ しゅご……しゅごかったです……♡ もう、セックスしか考えられません……」

「もっと……もっとください、お兄さんの精子……おかわり欲しいです……♡」

「ちゅう……ちゅ、れろ……はむっ……んんっ……お兄さんも……まだ、元気そうですね……中でまた、硬くなっていますよ……♡」

「ふふ……このまま、性欲の赴くまま互いを貪って、二人で気絶しちゃうくらい……犯し合いましょう……♡」

//水音SE:ゆっくり動く

「あつ♡ ああつ♡ ああん、すごいですっ♡ イッたばっかりなのに、もう、こんなに……ガチガチで……あ、はあ♡ はあ♡ あああつ♡ んう……♡」

「は♡ はあ♡ 音すごい♡ ぐちゃぐちゃ、やらしい音します♡ これ♡ あたしの愛液と、あなたの精液の音ですよ♡ まじりあって、凄い匂いがしてますね♡ 部屋中、セックスの匂いでいっぱいです♡ こんなのが嗅いだら、発情しちゃうなっしです♡」

(耳舐め)

「ちゅるるるっ、じゅぱっ、じゅるるるっ……はあ♡ はあ♡ あああん♡ 届いた♡ ちんこ、奥来たあつ♡」

//水音SE:スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「お、おああ♡ おつ♡ おうつ♡ おぐう♡ おぐっ、ちんこにゴンゴンされてりゅつ♡ おあつ♡ ぎもちいい♡ いい♡ おつ、おうつ、んほう♡」

「んんんんんんっ……♡ はあ♡ らめ、らめらめらめ♡ これらめです♡ んああつ♡ おなかの♡ 奥から♡ 瘦攣すりゅ♡ ほんとに壊れりゅつ♡ お、おう、おごっ、うあつ、あああつ……！」

//SE:潮吹き

「んうううううううううううううう……♡」

「は、はひ……はあ、あ、はあ……はあ……潮、吹いちゃい……ましたあ……」

//水音SE:スピードアップ(中)で、水音が多めに。

「んぐうつ！？♡」

「あつ♡ 突き上げないで♡ まだらめ♡ 潮吹きアクメしたばかり……おうつ♡ あへえ♡ ああつ♡ んうつ♡ ああああつ♡」

「ふんつ♡ おつ♡ んぐつ♡ ありえ、あたひも……腰とまんないですっ♡ なんで、なんでえ♡ はう♡ おあ♡ ああつ♡ あへ♡ ああつ♡ ああああんっ♡」

「んほお♡ おつ♡ おうつ♡ あふっ♡ わかんにやいい……んうつ……もう……おつ♡ おつ♡ おつ♡ わかんにやいでしゅう……おごつ♡ おつ♡ おおつ♡」

「あふ♡ おちんぽ♡ おちんぽきもちいい♡ それしか……もう……わかんにやいですう♡ はふう♡ おまんこあげる、あげましゅう♡ あたしのおまんこ、お兄さんのものでしゅう♡ あたし、お兄さん専用オナホでいいでしゅう♡」

「だから♡ だからあ♡ 精子くだしやい♡ せーえき♡ ぴゅっぴゅって♡ 子宮に入れて♡ あたしのお腹パンパンにしてくだしやい♡」

「んううつ♡ おちんぽ当たりゅ♡ 子宮揺れてりゅつ♡ はうつ♡ あああつ♡ んうつ♡ きもちい♡ きもちい♡ おぶっ、おうつおうつ♡ 頭……おかしくなりゅう♡」

(ディープキス)

「はあ♡ はあ♡ ちゅっちゅしましょ♡ ちゅ、じゅるるるるる……ふはあつ♡ んうつ♡ また出ちゃうう……！」

//SE:潮吹き

「やああああんっ！！」

「はあんっ♡ 二回も♡ 潮♡へあ？」

//水音SE:ラストスパート

「んあ"っ！！ まっで！！ むり！！ むりい！！ おっ！ おっ♡ おおつ♡」

「んうう♡ あたしたち♡ ベトベトヌルヌル♡ えっちな匂いしゅりゅう♡ おっ♡ おあ"つ♡ もつど♡ 激じい♡ おっ♡ おおおつ♡」

「おぢんぼっ♡ ぢんぼに精液♡ 精液ぎでるう♡ おっ♡ おうつ♡ まんご♡ ずっと痙攣じでる♡ まんご壊れた♡ おっ♡ 子宮が精液.....精液待つでるう♡」

「精液出しどえ♡ 好き♡ 好き♡ 好き♡ お兄さん大好きい♡」

「いい！！ あああっ！！ そのまま出でで♡ 子宮口ごじあげで♡ ざーめんいれて♡ はらませセックスして♡ あつ♡ ああっ♡ わがる！！ もう精液くる、くりゅう♡ あだじ、また、またイグ、おつ、おああつ、イグイグイグう.....！！」

(絶頂)

「ああああああああああああああああああああつ！！ んぐっ！！ んんんつ、あああああああああああつ！！」

「け、痙攣止まんない.....！！ おあつ！！ 精液来て、りゅうう.....！！ ああああつ！！..... 精液濃い、重すぎて.....♡子宮膨らむうつ！ ああつ、妊娠しちゃいますうつ.....♡」

「はあ.....はあ.....んあ.....ん.....」

//水音SE:ゆっくり動く

「さ、さすがに.....もう、空っぽみたいですね.....あたしも.....もう.....げ、限界.....です.....」

//SE:水音終了

SE:どさっと横になる音

「ふふつ.....さいこーでした.....♡ あなたの精子♡ 濃くて元気でたっぷり.....精子もセックスもすごすぎて.....赤ちゃん出来るかと思いました♡」

「.....あ、実際にはデキないので安心してください。栄養として吸収してしまうので」

「はい.....だからこれからも、安心して孕ませセックス、し放題ですよ」

「.....あれ、伝わりませんか？ つまりはこういうことですよ」

(耳にキス)

「ちゅっ……」

「このまま、お兄さんとずっと一緒にいるのもいいなと思いまして♡」

「お兄さん的にも、その方が嬉しいですよね」

「だってロリサキュバスのおまんこを、オナホみたいに使い倒せるんですよ」

「お兄さんがしたいことも、ぜんぶ、していいんですよ？ 人間の女には頼めないようなプレイ
だって……あたしは、ぜんぶ受け入れます♡」

「イラマチオとか、お外でのセックスとか……もっとマニアックなのでも……お兄さんとなら……ふ
ふふ♡」

「これでもあたし、精をつける料理なら得意なんです。家事も一通りできますし。……ね、こんな優
良物件、他にいないですよ？♡」

「ふふ、焦らなくていいですよ。今日の所は一先ず帰ります。……引っ越しの準備もしないとです
し♡」

「だから、次来るまでに考えておいてくださいね、お兄さん♡」